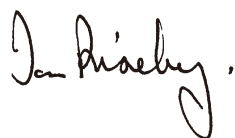


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長  
イアン H.S. ライズリー 氏




『土浦花火大会』 写真提供：河合 隆 会員

## 10月は経済と地域社会の発展・米山月間です。

2017～2018年度(第60期 小原年度)

### 10月第1例会プログラム

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 会長挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 誕生祝・入会記念祝・結婚記念祝
- 米山月間に因んで
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

10月5日(第2912回) VOL. 12

会 長

奉仕の理想

親睦活動委員会

ミリオンダラー・ミール

親睦活動委員会

米山記念奨学委員会 金澤幸江 副委員長

S.A.A

出席委員会

会 長

我等の生業

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

### RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番

創立 1958年2月14日(昭和33年)

承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)

U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>

例会場：L'AUBE Kasumigaura

### 土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

E-mail [office@tsuchiura-rc.org](mailto:office@tsuchiura-rc.org)

毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★  
**60**<sup>th</sup>  
**ANNIVERSARY**

## 卓話「日本刀の美と技」

刀剣作家

宮下 正吉 (本名 輝) 氏

私が仕事としております日本刀について、その美しさで見方、私が行っております作刀工程をお話しさせていただきます。

刀を鑑賞する点は大きく分けて3つ【姿】【地肌】【刃紋】があります。

**【姿】** 日本刀の形は「反り」という曲線が特徴です。

古墳時代から奈良時代までは真っすぐな「直刀」という中国・朝鮮半島等大陸から伝えられた形でしたが、平安時代から「反り」が付き始め平安末期頃から日本刀本来の形となり現在見る太刀の姿になりました。

直刀から日本刀への過渡期の形が平安中期の「毛抜型太刀」と言われているものです。

この反りは鎌倉時代に大きくつきますが時代が経つにつれて少なくなっていくます。

この反りがなぜついてきたかは明確な答えは今でもわかっていませんが武器がその時代の戦闘様式に合わせて改良されてきたことを考えると、この反りも武器としての必要性により生まれたものと考えられます。

反りは打撃力・斬撃力の強化、又衝撃からくる刀身へのダメージを逃がす力学的な効果もあったのではないかとされています。又長さも時代により変わり、鎌倉時代には2尺7寸前後の太刀が多いのですが、南北朝時代になると3尺から4尺の大太刀が流行します。

その後室町時代になり2尺4寸以下の姿のものが急増し刀という種別がなされていきます。

**【地肌】** 鉄を折り返し鍛錬することによって作られます。

日本刀の材料となる玉鋼と呼ばれる鉄は古くから伝わる「たたら吹き」という製鉄法をもって砂鉄を炭で低温還元して作られます。この玉鋼を処理し何度も伸ばしては折り返すという事を繰り返すことにより強靱な鋼となり日本刀独特の肌合いが生まれます。

その肌は木の杓目を見るようで「板目」「杓目」「正目」など呼ばれ各時代各流派の見どころとなっています。

**【刃紋】** 日本刀独自の文様で世界の刀剣を見ても他に例を見ません。

これは焼刃土という「砥石」「粘土」「炭」を混ぜた土を塗り刀身を800度ほど加熱し水中に入れて急冷する事により生み出されます。

焼刃土の塗り方により直刃や乱れ場など様々な文様を作りだすことが出来ます。こちらも各流派により様々異なりそれぞれの見どころとなっております

次に作刀工程について説明させていただきます。

刀の原料は「玉鋼」と呼ばれ、現在鳥根県の奥出雲でのみ古来からのたたら吹き製法で製造されているものを使用します。この鉄は不純物も含まれ不均一な鉄の為、刀を作る際均一な鉄にするために様々な処理が必要となります。

まず水へし、小割を経て硬い鉄と柔らかい鉄に選別しそれぞれを積み上げてまとめていきます。それを炭の中に入れ1300℃迄温度を上げていき叩くとまとまるので、さらにそれを叩きのぼしタガネで切れ目を入れ折り返し、又叩いてくっつけるというのを繰り返します。このことを「折り返し鍛錬」といいこの工程により不純物を含み不均一だった鉄を均一な鉄になっていきます。

硬い鉄・柔らかい鉄それぞれ折り返し鍛錬を15回ほど繰り返したものを柔らかい鉄が中になるよう硬い鉄で包み込みます。これを「造り込み」といい、硬い鋼の中に柔らかい芯を入れることにより、硬い中に柔軟さが生まれ、日本刀の「折れず曲がらずよく切れる」という作用をもたらします。

こうして一つになった塊を棒状に延ばし刀の形に手鋸で打ち出していきます。その後ヤスリや砥石で形を整え、焼刃土を塗り焼き入れを行います。焼き入れは焼刃土を塗った刀を炭の中に入れ温度を上げた後、水に入れ急冷する事で刃紋を生み出す工程の事です。焼刃土は「粘土」「砥石粉」「炭」を混ぜたもので、これをペースト状に練り刀の上に塗って使います。この焼刃土の塗り方により様々な刃紋の形を生みだすことが出来ます。



焼き入れが終わると、「鍛冶押し」といい砥石などで焼き入れによりゆがんだ姿を直したり刃をつけたりなど刀の最終的な形を整えます。

鍛冶押しの後銘を茎に刻み刀鍛冶の仕事は終わりですが、その他に研ぎ師、ハバキ師、鞆師など最低でも他の3人の職人の手を経て県庁で登録証を作成し、ようやく完成となります。其の為作成開始から完成まで最低でも6ヵ月ほどの期間が掛かってしまいます。

簡単にではありますが、以上が作刀工程となります。

拙い説明ではございましたが、日本刀というものが武器としてだけではなく、神聖なものとして美的意思をもって作られてきた、その美しさを今回の講演によって少しでも伝えることが出来ましたら幸いです。

最後になりますが、日本美術刀剣保存協会主催の平成29年新作名刀展において努力賞を受賞いたしました私の太刀が、来年度平成30年1月より、両国に新設されます新刀剣博物館にて、開館特別記念式展の中で展示されます予定です。

もしお時間がございましたらお誘い合わせの上お越し頂けますよう、よろしく願い申し上げます。

本日はご清聴誠にありがとうございました。



## 保延輝文ガバナー歓迎

## 家族懇親会のお知らせ

保延ガバナーをお迎えして、「ガバナー歓迎 家族懇親会」を下記のとおり開催いたします。  
多くの会員とご家族の皆様が参加されますよう宜しくお願い申し上げます。

日 時 平成29年10月26日(木) 17～19時

場 所 L'AUBE kasumigaura



準備の都合上、10月19日(木)までに出席のご連絡をお願いします。



## 土浦RAC 幹事報告

土浦RAC 幹事 濱脇 賢一

初回例会 平成27年9月20日(水) 於：一中地区公民館

テーマ：「ローターアクトについて」

内 容：本年度地区代表である鈴木翔太郎様による「ローターアクトについて」という卓話を頂き、各役職や委員会、地区とのつながりについて学んだ。

成功点：沢山のゲストにお越し頂き、初めての例会らしく緊張感を持って取り組む事が出来た。再結成間もなく分からない点も多かったが解消出来た。

反省点：セレモニー等で準備不足な点がありリハーサルを徹底していきたい。出席率も100%とならず、会員も増えた事から周知の仕方を見直したい。

会員6名中 4名出席 出席率 67%

次回例会予定

人前で話す事への苦手意識克服と新入会員との交流を目的とし、各々「自分年表」を作成し各自発表する。

総評 (小原芳道 RC会長)

鈴木翔太郎地区代表の話を受けて、今後土浦RACの皆には益々活躍してもらいたい。その中で、土浦RCと道心園とは長く良い繋がりがあり、再結成前の土浦RACでは道心園をお借りして様々な例会を行なっていた、今後それらを踏襲する事も1つのアイデアとして考えてみてはいかがだろうか。